



Rondokaya

令和2年1月実施

事業者向け

Rondokaya 放課後等デイサービス自己評価表

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|-------------|----|---|-----------------------|-----------------------|-----|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | <input type="radio"/> | | | 個別対応ができるよう、静養室のほかに個室を設けた。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | <input type="radio"/> | | | 児童発達支援管理責任者1名、保育士2名、児童指導員6名、介護初任者研修修了者4名、看護師・教員等有資格者2名 常勤換算5.5名配置 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | <input type="radio"/> | | | |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | <input type="radio"/> | | | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | | <input type="radio"/> | | 昨年度のアンケートをもとに 改善した点：業務開始前に利用者の様子や具体的な支援の方法を共有する時間を増やした。 保護者参加のイベントを開催。(ナイトデイ) 改善できなかった点：障害のない児童との交流 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | <input type="radio"/> | | | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | | | |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | <input type="radio"/> | | | 元年7月11日実施。講師：長野県発達障がいサポマネ 茅野進先生による講義 |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | <input type="radio"/> | | | 自立、コミュニケーション、余暇支援の3つを軸に、ご利用者様の発達状態を踏まえて個別支援計画を作成している。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | <input type="radio"/> | | | 5領域11項目を活用しながら適応行動の状況を図っていく。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | <input type="radio"/> | | | イベントミーティングを月1回開催し、職員全体で立案している。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | <input type="radio"/> | | | 平日：身辺自立(個別)(集団)・コミュニケーション(個別)(集団)のテーマに沿ったプログラムを各週おこなっている。 休日長期休暇：ダンス・調理・季節行事など1時間程度の活動プログラムをおこなう。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | <input type="radio"/> | | | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | <input type="radio"/> | | | 保護者とご本人の意向や発達状態を踏まえながら、自立に向けたものとコミュニケーションの目標を立てている。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | <input type="radio"/> | | | 支援会議での内容を児発管を通して共有している。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | <input type="radio"/> | | | 業務終了後に児童の様子やイベントの進め方について話し合い、改善を図っている。 |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|--------------|----|--|----|---------------|-----|---|
| 適切な支援の提供 | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | 記録者が固定されないよう、職員全体へ役割分担を促している。 |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | 半年ごとのモニタリング会議ごとに新たな個別支援計画書を作成している。 |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか | ○ | | | 元年度は法人全体で開かれたおまつり行事を計画した。結果的に台風の影響で開催中止になったが、地域のボランティア団体との交流の機会ができた。次年度につなげていきたい。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | | 児童発達支援管理責任者、場合によって常勤支援員が参画し情報共有をおこなっている。 |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | ○ | | | 学校や保護者を通じて年間計画表を確認している。早帰下校のみの利用する児童がいるときは保護者と利用確認を随時確認している。スクールバスの遅延については学校より電話連絡をいただいている。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | / | / | / | 該当児なし |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | | ○ | | 状況によって保護者や相談支援専門員を通じて、保育所での様子や成育歴を情報共有している。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | ○ | | | スムーズなサービス移行を踏まえて高校3年生卒業後の春休みのサービス利用について保護者と相談支援専門員等関係者機関と相談し利用を決定している。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | / | / | / | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | | ○ | 昨年度から引き続き課題。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | ○ | | | 諏訪圏域自立支援協議会療育支援部会に参加。フォーラム実行委員など務めた。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | お迎え時などで利用中の様子を伝えるとともに学校や家庭での様子を聞き本人の発達状況や課題を共有している。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | | ○ | ツールを使ったペアレントトレーニングをおこなっていくことが課題。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | 見学や契約時に運営規定の説明をおこなう。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | | 引き続き信頼関係を築いていく。バス停での送迎時に個別で話をする機会が少ないことが課題。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | ○ | | | 父母の会の開催は出来なかったが、イベントを通じて保護者が参加できる機会を昨年度よりも増やすことができた。 |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いいえ | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|------------|----|---|----|--------------|-----|---|
| 保護者への説明責任等 | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | | ○ | | ブログ投稿の回数を増やしていきたい。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | 支援記録等個人情報となりえる書類は鍵付きの書庫に保管するなど取り扱いに十分な配慮をおこなっている。 |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | | 場合によって絵カードや予定表を用いて視覚でもわかりやすいコミュニケーションを図っている。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | ○ | | | 創星会まつりの実施。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ○ | | | 職員室に保管しているが、保護者とも共有できるように避難フローを分かりやすい場所に掲示していきたい。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | | ①元年6月22日(土)実施。土砂災害想定 ②元年11月21日(木)実施。通報及び避難訓練、消火訓練をおこなった。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | | 研修に参加した職員による報告書の全体での読み合わせをおこなった。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | ○ | | | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | | アレルギーのある子どもについては、医師の指示書にもとづき、保護者から聞き取りをおこない、安全に食事ができるように十分な配慮をおこなう。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | | ヒヤリハットが起きた場合、児童の担当職員が記入し全職員で回覧をしている。 |